

第3回 加茂市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（七谷地域）  
議事要旨

日時：令和6年11月15日（金）18：30～19：45

場所：七谷コミュニティセンター 1階 大広間

出席者：6名

- 1 開会
- 2 加茂市都市計画マスタープラン（案）の概要について
- 3 質疑応答
- 4 事務連絡
- 5 閉会

【質疑応答】

地元意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要幹線道路の 290 号が七谷地域を通過するだけの道になっている。</li> <li>・八十里越が今後開通する中で福島からの流入も考えられるが、290 号上に交流人口拡大に関する施策が欲しい。</li> <li>・下田から来る方への案内板の表示が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八十里越の完成後の動きが不明確である。</li> <li>・観光関係の施策については、冬鳥越スキーガーデンや美人の湯の更なる活用も含め、検討する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・290 号上に人を呼び込む仕掛けとして、小中学校の跡地の有効活用ができるとうい。大学の合宿所などの施設を設置したら良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統廃合後の廃校は民間活用も含めて今後検討する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・七谷地域にコメリのような企業を誘致することはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業が使いやすい場所などを選ぶので、中々難しい点はあるが、企業から出店の相談があれば七谷地域での検討は可能である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・七谷地域の人口推移は、加茂市全体と比べてどのような状況か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七谷地域の人口減少率と高齢化率は最も高い。</li> </ul>

地元意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方たちが、全員で協力して何かをやろうという気持ちになってくれれば、行政から何かしらサポートがあるのかもしれない。やはり地域全体でまとまって動かないと、人口的に難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・—</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランと聞いても分からないところがある。他都市ではYouTubeで説明動画を作成しており、そのような工夫があれば、説明会にも来やすくなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考にさせていただく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題について、現状をそのまま記載されている印象である。無理なことは書けないだろうが20年後のプランとしてよいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現性がない方針については、位置付けることは難しい。人口減少の中で地域のコミュニティや農業を守っていく必要があり、そのための方針を検討してきた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市として耕作放棄地をどうするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林課の人・農地プラン（地域計画）では、耕作放棄地の対策や農地の集積・集約について記載されている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の区長にも資料を配布してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内部で様々な計画があり、懇談会を行っているが、共通する課題もある。1回で様々な計画を説明してもらえるような場にして欲しい。</li> <li>・「担当課が異なる」といった回答が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂市では、様々な分野の計画を一斉に作成しているが、ご意見のとおり、片手落ちな回答になっているのは申し訳ない。</li> </ul>

第3回 加茂市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（加茂地域）  
議事要旨

日時：令和6年11月9日（土）18：30～19：45

場所：地域交流センター2階 多目的大ホール

出席者：5名

- 1 開会
- 2 加茂市都市計画マスタープラン（案）の概要について
- 3 質疑応答
- 4 事務連絡
- 5 閉会

【質疑応答】

地元意見	事務局回答
・若い人が働く場所がないが住む場所としては良い。どうやったら若い人が住めるか検討が必要である。加茂には工業団地が不足している。	・加茂地域として工業団地の造成は難しいが、須田地域においては民間による工業団地の造成の話がある。
・駐車場の確保が必要であり、青海神社の体育館を駐車場にしたらい。	・現段階ではそこまで具体的な計画を位置付けるのは難しい。
・加茂川沿いの左岸の草刈りをしたいが、市が受け入れてくれない。	・内部の方でもうまくいくように検討する。
・地域別懇談会の意見にある「太陽光パネル設置による森林伐採の制限」とはどのようなことか。	・太陽光パネル設置による森林伐採を抑制するという意見であった。表記を修正する。
・太陽光パネルの設置を加茂市としては推進しているか。	・ゼロカーボンシティ宣言都市となり、地球温暖化対策計画の策定を進めている。特定の事業に対しての補助制度など実効的な施策については今現在行っていない。
・青海神社の整備と記載されているが、人を呼ぶための施策としてよい。	-
・人を呼ぶためには駐車場の整備が必要である。	・問題として認識している。
・加茂に来た人が商店街の様々な品物を買う場所がない。集約した店舗があるとよい。	・市だけでは対応できない部分もあるが、民間の力を借りて取り組んでいきたい。

<ul style="list-style-type: none"><li>・夜のイベントがあっても宿泊施設がない。</li><li>・加茂駅が利用しやすいようにバリアフリー化を進める必要がある。</li></ul>	
--	--

第3回 加茂市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（西加茂地域）  
議事要旨

日時：令和6年11月16日（土）14：00～15：15

場所：加茂市役所 3階 301会議室

出席者：8名

- 1 開会
- 2 加茂市都市計画マスタープラン（案）の概要について
- 3 質疑応答
- 4 事務連絡
- 5 閉会

【質疑応答】

地元意見	事務局回答
・都市計画マスタープランの「実現化方策」とはどの程度まで実現させるのか。この「実現化方策」と実施計画は何が違うのか。	・実施計画は各課で進めるものであり、「実現化方策」は現状の施策や各課で今後進める施策の概要をまとめたものである。
・マスタープランの期間は。	・都市計画マスタープランの計画期間は20年で、10年ごとに見直しを行う。
・若年層からのアンケート結果がマスタープランにどう生かされたか。 ・若年層の具体的な意見はどのようなものか。	・具体的な反映部分は言えないが、意見は取り入れている。 ・遊ぶ場所や商業施設の要望が多かった。
・高須町などでは、高い建物の避難所がない。今計画している子育て支援施設を高須町に持ってくることで避難所と兼ねることができないのではないか。	・確かに高須町付近は避難所が特にないということは以前から言われている。今から方針転換は難しいとは思いますが、こういった意見があったというのを主管課に伝える。 →敷地の件、行政機能の集約、その他諸々を考慮した際に最適であるのが、現状案で示した部分であると認識している。

地元意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な市街地の拡大の抑制という方針があるが、新しく造成した住宅地に家が建っており、古い住宅地では空き家が増加している。空き家を活用することが理想であるが、その対策は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には既成市街地を有効活用し、なるべく拡大は防ぐ方針としている。市では空家等対策計画の策定を進めており、今後対策を進めていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂市は新潟市や長岡市の衛星都市として住宅都市の方向性がよい。交通の便がよい西加茂地区に思い切って住宅団地を造成する大きな構想も考えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ整備の問題もあるが、加茂市の都市の方向性の意見として参考にさせていただく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしてもどこを目指して避難するべきなのかははっきりしていない。</li> <li>・計画としてこれだけは変えない柱を示していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の都市計画マスタープランが様々な施策の柱になる計画であり、この計画に基づき進めていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地はどの程度守っていくのか。基本的には今ある農地を守る方針であるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今ある農地を守る方針である。農林課の地域計画に基づき農地の保全を進めていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要幹線道路沿いは生活利便性がよく、本来であれば商業施設や住宅があるべきであり、なぜ農地を守っていくか説明が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域の農地は今後も守っていく位置づけは変わらない。今後、社会情勢の変化があれば検討が必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策については、ほとんどがソフト施策である。ハードの防災対策が見えていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国では信濃川流域治水プロジェクトによりソフト・ハード両面で対策を進めている。ハード対策は県や国の協力が必要である。全体構想の方で位置付けている。</li> </ul>

第3回 加茂市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（下条地域）  
議事要旨

日時：令和6年11月8日（金）18：30～19：45

場所：下条コミュニティセンター 2階 大広間

出席者：5名

- 1 開会
- 2 加茂市都市計画マスタープラン（案）の概要について
- 3 質疑応答
- 4 事務連絡
- 5 閉会

【質疑応答】

地元意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"><li>・下条川の美観について、河川敷の整備が必要である。特に、天神までの川沿いの美観を考慮する必要がある。</li><li>・横江のバイパス道路の歩道が陥没していて道路の美観が悪い。草刈りやごみ拾いなどの小さな取り組みから始めることが重要ではないか。</li><li>・防災の面で、下条地区の山沿いは土砂災害に注意が必要である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民と協働で進めていくことが重要である。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・若い人が定住しないことで将来、空き家が増える可能性がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・空き家対策は重要な課題である。市では空き家等対策計画の策定を進めており、今後対策を進めていく。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・横江では空き家をリフォームすると若い人が住むことが多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域として様々な取り組みを積み重ねていくことが重要と考えている。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・下条川の泥や草の問題について、景観面からも防災面からも、適切に対応してもらえないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・加茂川も含め管理については県に要望している。ただ、生態系への影響や膨大な費用がかかるため、まずは防災面から河川整備や管理の取組を行っている。</li></ul>

<p>・下条川ダムのつり橋が危険で使用できないのはどうしてなのか。</p>	<p>・つり橋の踏み板が腐食しているため、現在は通行止めになっている。          ・修理には費用がかかるため、簡単にはできないが、下条川ダムの活用とセットで考えていくべき事項と考える。</p>
<p>・下条川ダムの自然学習館の利用は多いのか。</p>	<p>・自然学習館の利用はそれほど多くない。(令和5年度：年間4団体)          ・一方、釣り人やキャンプ場の利用客はそれなりにいるが、学習館の宿泊利用が可能であることについて周知不十分であると感じる。</p>
<p>・つり橋が使えないため、ハイキングコースの利用価値が落ちている。</p>	<p>・都市マスタープランの計画とは異なるが、観光資源としての活用を考えている。</p>
<p>・将来構想として下条川ダムから若宮の方に抜けるルートの環状道路の導入を考えたら良いと思う。</p>	<p>・県道天神林上条線を通って長福寺から反対側の若宮に抜ける道があり、この整備については市としても県に要望している。そのため、方針図においては整備検討路線と表示している。          ・ただ、道路整備には費用がかかるため、実現が難しい部分はある。下条川ダムの利用促進のため、案内表示の整備なども検討していく必要があると考えている。</p>
<p>・大曲緑地の桜の木の付近は草が繁茂していて景観を損ねている。草刈りを行うなどをできないか。</p>	<p>・該当の場所は年に2回、区において草刈りを実施してもらっている。またここに限らず、市で全て行うのも限界があるので、市民と一緒に行動するために「協働によるまちづくり」という目標を設定している。都市計画マスタープランをきっかけに、できることから官民連携の話が進むようになっていけたらと考えている。</p>
<p>・官民連携、市民連携という話は、全国的に頻出されていると思う。どうやって住民と行政側と一緒にやるか、そういった部分を絵として示してほしい。</p>	<p>・どうやって官民連携を進めるかは画一的なものではなく、ケースバイケースである。細かい点まで都市計画マスタープランに記述するものではないと考えている。</p>



第3回 加茂市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（須田地域）  
議事要旨

日時：令和6年11月9日（土）14：00～15：15

場所：須田コミュニティセンター1階 大広間

出席者：3名

- 1 開会
- 2 加茂市都市計画マスタープラン（案）の概要について
- 3 質疑応答
- 4 事務連絡
- 5 閉会

【質疑応答】

地元意見	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"><li>・須田地区の中学や小学校、郵便局が次々と閉鎖され、高齢者が暮らしにくくなっている。</li><li>・高齢化が進み、若者が育たず、農家の後継者もいないため、地域の将来が不安である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少に伴い、公共施設の統廃合や金融機関の地域からの撤退などはどうしても俎上に上がってしまう。公共交通の利便性を向上させ、そういった点をカバーするしかないと考える。</li><li>・若者が少ない問題は他の地域でも共通しているが、工業地域の新設により雇用が生まれ、住む人が増える可能性がある。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・防災に関して、中学校や小学校がなくなること避難所の確保が難しくなる。防災組織を立ち上げたが、避難所の運営や市からの連絡方法に不安がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・マスタープランで一つ目標として協働によるまちづくりを掲げている。市だけでは対応が追いつかないところもあり、協働で取り組んでいきたい。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・北潟地区の裏道が抜け道になっており、カーブミラーの設置が必要である。</li><li>・田んぼにゴミが捨てられる問題があり、道路の傷みも激しい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・居住者が増加したり、道路が整備されるとそういった問題が出てくるのはやむを得ない部分がある。対応できることからしていく他ないのが現状である。</li></ul>

地元意見	事務局回答
<p>・地域の拠点について、須田中学校周辺の後須田より須田小学校周辺の前須田が中心であるというのが住民の認識としてある。一方で、須田小周辺は駐車場不足が課題である。</p>	<p>・令和6年5月に策定された「加茂市立小中学校適正化方針」に基づき、校舎の適切な維持管理をしながら統廃合や廃校後の民間による利活用も含めて様々な検討を進めている。</p>
<p>・将来の人口推計は、市の総合計画と整合しているか。</p>	<p>・国立社会保障・人口問題研究所の推計をベースとしており、総合計画と推計方法は同じである。ただし、今回は直近の令和5年12月に公表された推計をベースとしている。</p>
<p>・須田地域の工業出荷額や農業生産額の割合はどのような状況であるか。</p>	<p>・全体構想では市全体の集計を整理している。しかし、統計データが地区別に公表されていないため、5地域別の集計は行っていない。</p>
<p>・須田工業団地のアクセス道路について、通勤の際の裏道として利用する方が多い状況である。道路の整備は考えているか。 ・実際に住んでいる農業従事者や関連する人たちなどにも関わってくる部分だと思うし、その部分とうまくマッチできるような都市づくりをしていただきたい。急に商業地のような地域になることはないと思うので。</p>	<p>・道路の環境整備により須田工業団地の利便性が向上すると考えており、検討は必要である。一方で道路を拡幅することでスピードを出した車が通るなどの懸念がある。 ・工業団地が新しくでき、人口が増えたり、須田が行き先になるような人が増えれば、商業施設の出店も期待する余地がある。</p>
<p>・道路に民家の木の枝が飛び出していることがある。空き家が多く、対応が困っている。</p>	<p>・市では空家等対策計画の策定を進めており、今後対策を進めていく。</p>